

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
  - ※1 1回線送電線(1バンク運用)のため1回線(1バンク)設備容量を記載
  - ※2 3回線送電線(3バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し2回線(2バンク)分の容量を記載
  - ※3 4回線送電線(4バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し3回線(3バンク)分の容量を記載
- (2) 送電線の空容量は、同一送電線においても連系点によって異なる場合がありますなど、連系点が定まらない状況で正確な空容量を算定することはできません。このため、本表における空容量の数値は、目安であり、ご希望の連系点によっては、空容量が増減する可能性があるため、送電系統への接続を希望される場合には、接続検討をお申込みいただき、その検討の中で連系点に応じた空容量を精査した上で、必要な対策を回答いたします。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
  - #1 基幹系ループ系統のため
  - #2 1回線送電線のため
  - #3 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
  - #4 配電用変電所のため(高圧電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)
  - #5 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
  - #6 2回線送電線の分割運用等のため
- (5) N-1電制適用可能容量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能容量(上位系等考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討を行い必要な対策を回答します。その結果、適用可能容量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。なお、連系先が3年以内に増強した設備の場合、今後増強予定の場合、または、電源接続案件募集プロセスが現在進行中のエリアや、フェンス管理している送電線については、運用容量、空容量、またはN-1電制適用可否・N-1電制適用可能容量について別途検討が必要等の理由により、備考欄に「●」を記載しております。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開していません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能容量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (10) 電力広域的運営推進機関から示された「想定潮流の合理化」適用後の空容量です。
- (11) 空容量は主に送電線や変圧器容量に基づき算定しており、変電所構内機器の制約などは考慮していません。このため、連系にあたり変電所構内機器の取替が必要となる場合があります。
- (12) 会社間連系または他エリアとの接しよう送電線・変圧器であり電源の接続に関して別途協議が必要な設備については、備考欄に「◆」を記載しております。
- (13) 進行中の電源接続案件募集プロセスの状況によって、空き容量を見直す場合があります。
- (14) 離島については、系統規模が小さいことから、系統連系に係る申込みは個別に検討、協議させていただきます。
- (15) 暫定的な系統容量の確保は、不備のない契約申込み書類を受付けた日となりますが、公表している空容量は契約申込みの書類不備解消を確認してから算定しております。このため、空容量以下の容量の系統連系を希望される場合であっても、上位系統の送変電設備の増強工事が必要となる場合があります。増強工事内容については、接続検討にて検討を行い回答いたします。
- (16) 配電用変圧器等の設備容量、運用容量値は、変圧器本体の値を記載しております。また、配電用変圧器等の空容量は、変圧器が複数台ある場合は各変圧器のうち最小値を記載しております。
- (17) ノンファーム型接続欄には、対象設備にノンファーム型接続を適用した場合、「適用」と記載しております。
- (18) ノンファーム適用系統欄のうち、当該設備欄は、その設備がノンファーム型接続の起因設備である場合、「対象」と記載しております。また、上位系のノンファーム設備欄には、ノンファーム型接続の起因となる上位系の設備番号(送電線No, 変電所No, フェンスNo)を記載しております。

(1)一次変圧器(275/66kV, 154/66kV)

変電所No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量(100%×台数)(MW)	運用容量値(MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能容量(MW)	ノンファーム型接続	ノンファーム適用系統		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
301	秋田	154	66	3	285	198	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	※2 ●
302	羽後	275	66	3	285	209	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	※2 ●
303	能代	275	66	2	190	114	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
304	大館	154	66	3	285	228	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	※2 ●
305	秋田中央	154	66	2	285	171	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
306	御所野	154	66	3	380	266	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	※2 ●
307	大仙	154	66	2	190	114	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
308	由利	154	66	3	285	228	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	※2 ●

※上表の空容量は、変圧器の一次側と二次側の母線空容量の小さい方を示しております。上表にない電気所の空容量は、電気所に接続する送電線の空容量を参考に確認をお願いいたします。

## (2)配電用変圧器等(66/6.6kV, 66/33kVなど)

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	ノンファーム型 接続	ノンファーム適用系統		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノン ファーム設備	
3001	阿仁	33	6.6	1	5.7	5.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3002	羽後増田	66	6.6	2	33.2	33.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	1	5.7	5.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3003	羽川	33	6.6	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3004	横手	66	6.6	3	57.0	57.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3005	横堀	66	6.6	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3006	3006	11	6.6	2	20.8	20.8	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		11	6.6	1	0.2	0.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3007	花輪	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3008	角館	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3009	3009	33	6.6	1	5.7	5.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3010	刈和野	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3011	岩瀬	66	6.6	2	15.2	15.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3012	牛島	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3013	境	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3014	3014	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3015	桂	66	6.6	3	42.7	42.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3016	御所野	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3017	向能代	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3018	広小路	66	6.6	3	57.0	57.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3019	山王	66	6.6	3	61.7	61.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3020	釈迦内	66	6.6	3	47.5	47.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3021	手形	66	6.6	3	57.0	57.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3022	3022	3.3	6.6	1	5.1	5.1	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3023	3023	66	33	1	9.6	9.6	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3024	小又川	66	6.6	1	5.7	5.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	1	5.7	5.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3025	松本	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3026	沼館	66	6.6	3	52.2	52.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3027	象潟	66	6.6	2	33.2	33.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3028	新屋	66	6.6	2	28.5	28.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3029	新山	154	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3030	森岳	66	6.6	2	33.2	33.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3031	3031	66	6.6	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3032	3032	66	6.6	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3033	西馬音内	66	6.6	2	23.7	23.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3034	3034	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3035	千畑	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3036	川添	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	1	14.2	14.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3037	船越	66	6.6	3	42.7	42.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3038	船川	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	2	15.2	15.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3039	大館	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3040	大久保	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3041	大曲	66	6.6	3	52.2	52.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3042	大川反	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3043	鷹巣	66	6.6	2	33.2	33.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3044	3044	66	6.6	1	4.2	4.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3045	男鹿配電塔	33	6.6	1	5.7	5.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3046	3046	66	6.6	1	5.7	5.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3047	3047	66	33	1	11.1	11.1	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3048	土崎	66	6.6	3	66.5	66.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	1	4.2	4.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3049	東成瀬	33	6.6	1	5.7	5.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3050	3050	33	6.6	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3051	湯沢	66	6.6	3	52.2	52.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3052	南河辺	66	6.6	2	28.5	28.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	ノンファーム型 接続	ノンファーム適用系統		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノン ファーム設備	
3053	南通	66	6.6	2	57.0	57.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3054	二ツ井	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3055	能代東	66	6.6	3	47.4	47.4	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	1	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3056	八橋	66	6.6	3	57.0	57.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3057	八森	33	6.6	1	14.2	14.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3058	八郎潟	66	6.6	2	33.2	33.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3059	飯島	66	6.6	2	33.2	33.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3060	美入野	66	6.6	2	33.2	33.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3061	平沢	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3062	米内沢	66	6.6	2	28.5	28.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3063	大仙	66	6.6	2	38.0	38.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3064	本荘	66	6.6	3	52.2	52.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	1	14.2	14.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3065	毛馬内	66	6.6	2	33.2	33.2	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
		66	33	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3066	由利	66	6.6	1	9.5	9.5	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3067	岩城亀田	66	6.6	2	19.0	19.0	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●
3068	3068	66	6.6	1	5.7	5.7	熱容量	-	0.0	-	-	-	-	-	●